

# 第84期中間報告書

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

*Material*



*Organization*



つなぐを  
化学する

SPECIALITY  
CHEMICAL  
PARTNER

*Partner*



*History*



荒川化学工業株式会社



代表取締役社長 谷奥 勝三

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、第84期中間報告書(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期の世界経済は、米国を中心とする先進国では回復の兆しが見え始めたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速により、弱い成長に留まりました。一方、国内経済はデフレ脱却に向けた金融緩和政策に期待が寄せられ、株高・円安が進み、個人消費や輸出・生産の増加、輸出採算の改善などの兆候がみられましたが、円安・原油高によるコスト上昇が製造業・素材業種の懸念要因となっております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、今年度よりスタートしました第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や、事業開発の促進に注力してまいりました。また、ロジンをはじめとする原材料価格の上昇が、収益圧迫の要因となっており、製品価格の改定や、経費削減に努めております。そのような状況下、海外での収益拡大が寄与し、利益面では前年同期を上回りました。

その結果、当中間期の売上高は355億7百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は11億34百万円(同47.0%増)、経常利益は為替差益の影響もあり、14億24百万円(同106.3%増)、純利益は8億67百万円(同623.3%増)となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、1株につき12円とさせていただきます。

平成25年4月にスタートしました第3次中期経営計画では、創業140周年(平成28年)に向け、キャッチフレーズ「**グローバル140**」を共通認識として一層グローバル化を加速させ、「アジアを中心に活躍できる企業」へと成長

することを目指しております。

さらに、7年後の2020年(平成32年)には「真のグローバル企業」となることを見据え、長期的な視点も加えた成長戦略を実行、実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

役員一同(平成25年9月30日現在)



前列左から：宇根高司常務取締役、谷奥勝三代表取締役社長、眞鍋好輝常務取締役、末村長弘取締役相談役、  
後列左から：延廣徹取締役、山中勝之監査役、辰巳純一取締役、厚朴裕一監査役、西川学取締役、岩城本臣社外監査役、荒川壽正取締役、  
中西隆夫社外監査役、三王哲朗取締役、浅井正士社外監査役、宮下泰知取締役

株主の皆様へ…………… 1・2  
 What is ROSIN?  
 シャボン玉を強く美しくする…………… 3・4  
 ロジンの魔法  
 事業の概況…………… 5・6  
 連結財務諸表…………… 7・8  
 Information  
 当社のビジョンが新しくなりました!…………… 9  
 会社概要…………… 10

# シャボン玉を強く美しくするロジンの魔法



ロジン

ストローを吹くと次々つくられるシャボン玉。幼い頃、夢中で遊んだ経験のある方も多いのではないのでしょうか。シャボン玉をつくる溶液の主な成分は洗濯のりや洗剤、石けんなどを溶かしたものです。昔から伝わる溶液のレシピとして、ロジンの原料である松脂があります。今回は、意外と知られていないシャボン玉と松脂の関係をひも解きます。

## 江戸時代の庶民の間で流行ったシャボン玉遊び

現在につながるシャボン玉遊びが大流行したのは江戸時代のこと。「玉屋」というシャボン玉を売る行商まで登場し、大人気となりました（残念ながら当社のルーツ『玉屋』とは異なりますが）。

しかし当時は、シャボン玉の名前の由来とされる「シャボン（石けん）」は大変貴重でした。そのため、無患子<sup>むくろじ</sup>という植物の実をすりつぶしたりしたものを主な材料にしてシャボン玉液をつくっていました。



【無患子】  
高さ15mほどになる落葉の高木。暖地に多く見られ日本では北陸・北関東以南に分布。果実には石けんの成分となるサポニンが多量に含まれ、オーガニック石けんなどに利用される。別名ソープナッツ。

## 松脂を入れるとより強く美しいシャボン玉が

さらに、粘りの出る松脂を入れるなどして丈夫で壊れにくい膜をつくるための工夫を施し、竹の細い管で吹いて遊んでいたようです。

このように、江戸時代において大いに盛り上がったシャボン玉遊びですが、こうした昔ながらのシャボン玉液の作り方は、ひと昔前まで民間伝承的に受け継がれてきました。

今では専用の溶液も出回るようになり、すっかり手軽に遊べるようになったシャボン玉ですが、よりよいシャボン玉をつくるための、先人の創意工夫が偲べれます。



無患子の実で作ったシャボン玉をばさず江戸時代の子どもたち。  
●浮世絵「風流十二月」(石川豊雅:1764-1781年)



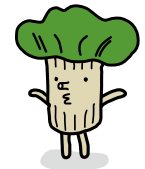
## 荒川化学はロジンと歩んで130余年

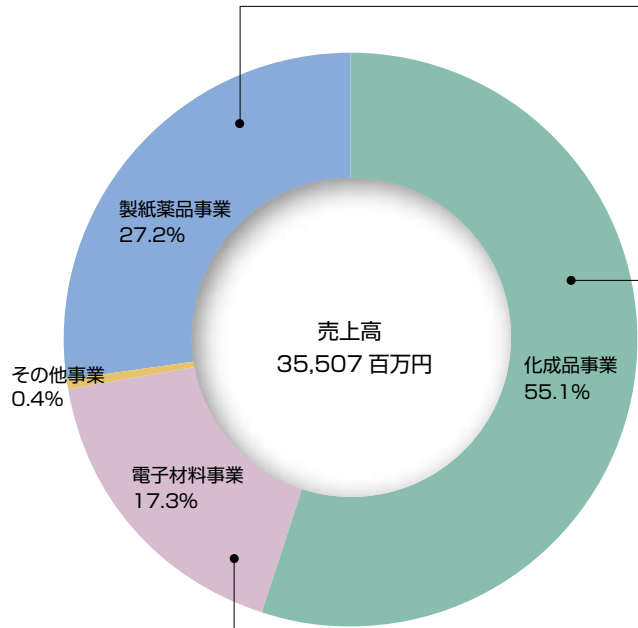
荒川化学は、明治9年の創業以来、130余年におよぶ永きにわたり「ロジン」を原料とするパインケミカルズ(松脂関連化学製品)分野のパイオニアとしての地位を確立してまいりました。例えば、紙のにじみ止め薬品、印刷インキ用樹脂、粘着・接着剤用樹脂などを開発し、日本の産業の発展に大きく貢献してまいりました。

## つなぐを化学する SPECIALITY CHEMICAL PARTNER

荒川化学の、さまざまな素材を活かす独自の「つなぐ」技術は、環境にやさしくを基本に、人と地球の未来をつなぎます。取引先はもとより、グループ社員、社会とのつながりを大切に

【SPECIALITY CHEMICAL PARTNER】を目指します。





製紙薬品事業



国内製紙業界は、印刷・情報用紙や段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は堅調に推移しました。利益面では中国を中心としたアジア地域における拡販が寄与し、増益となりました。

その結果、売上高は96億49百万円(前年同期比9.8%増)、セグメント利益は5億21百万円(同22.6%増)となりました。

化成事業

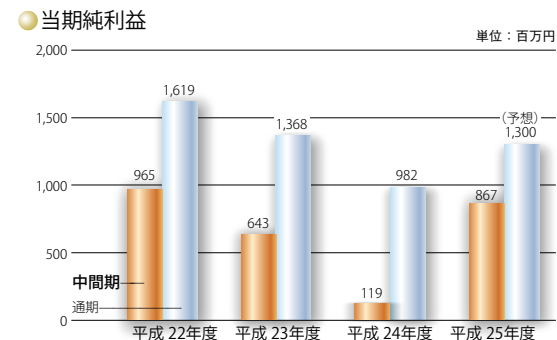
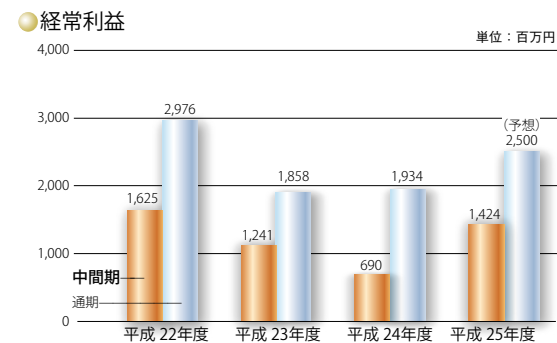
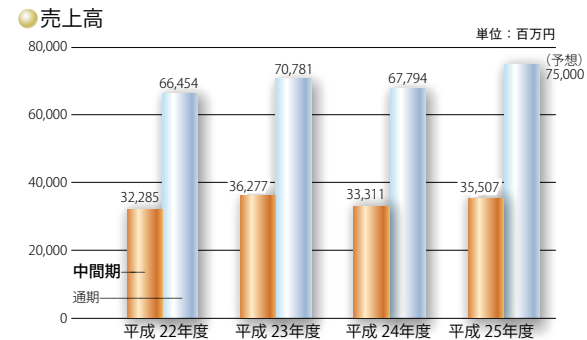


国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、出版・広告分野などで低迷が続きましたが、包装分野は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂の販売が堅調に推移しました。また、粘着・接着剤用樹脂が欧州、アジア地域で伸張し、売上高は195億67百万円(前年同期比6.9%増)となりました。セグメント利益は、原材料価格上昇による収益圧迫もありますが、超淡色ロジン製造設備の減価償却費減少や円安効果等により、5億80百万円(同363.2%増)となりました。

電子材料事業



電子工業業界は、薄型テレビやノートパソコンの需要低迷が続くなか、スマートフォンが好調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、タブレット端末への移行により、ノートパソコン向けの製品が振るわない一方で、スマートフォン関連用途向け光硬化型樹脂、電子材料用配合製品は堅調に推移し、売上高は61億44百万円(前年同期比1.2%増)、セグメント利益は前年同期の損失から黒字転換し20百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)となりました。



連結貸借対照表

科 目	前中間期 (24.9.30 現在)	当中間期 (25.9.30 現在)	前 期 (25.3.31 現在)
<b>[資産の部]</b>			
<b>流動資産</b>	<b>47,313</b>	<b>49,229</b>	<b>50,636</b>
現金及び預金	5,724	8,075	6,993
受取手形及び売掛金	26,774	25,047	27,121
たな卸資産	13,232	14,431	14,986
その他	1,706	1,822	1,665
貸倒引当金	△ 125	△ 147	△ 131
<b>固定資産</b>	<b>27,120</b>	<b>28,579</b>	<b>27,735</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>21,727</b>	<b>21,624</b>	<b>21,381</b>
建物及び構築物	8,360	8,092	8,123
機械装置及び運搬具	8,225	8,152	7,907
土地	4,701	4,775	4,710
その他	439	604	639
<b>無形固定資産</b>	<b>793</b>	<b>753</b>	<b>777</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,599</b>	<b>6,200</b>	<b>5,577</b>
投資有価証券	3,752	5,411	4,783
その他	855	796	798
貸倒引当金	△ 8	△ 7	△ 4
<b>資産合計</b>	<b>74,433</b>	<b>77,808</b>	<b>78,372</b>

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (24.9.30 現在)	当中間期 (25.9.30 現在)	前 期 (25.3.31 現在)
<b>[負債の部]</b>			
<b>流動負債</b>	<b>26,633</b>	<b>30,916</b>	<b>33,825</b>
支払手形及び買掛金	11,318	11,090	12,478
短期借入金	11,075	10,962	11,581
1年内償還予定の社債	—	5,000	5,000
その他	4,239	3,862	4,765
<b>固定負債</b>	<b>9,874</b>	<b>4,349</b>	<b>4,437</b>
社債	5,000	—	—
長期借入金	2,619	1,553	1,825
退職給付引当金	1,832	1,626	1,783
その他	422	1,170	828
<b>負債合計</b>	<b>36,507</b>	<b>35,266</b>	<b>38,262</b>
<b>[純資産の部]</b>			
<b>株 主 資 本</b>	<b>37,420</b>	<b>38,687</b>	<b>38,052</b>
資本金	3,128	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350	3,350
利益剰余金	30,953	32,220	31,585
自己株式	△ 11	△ 11	△ 11
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 644</b>	<b>2,353</b>	<b>836</b>
其他有価証券評価差額金	447	1,480	1,089
為替換算調整勘定	△ 1,091	873	△ 253
新株予約権	—	27	—
少数株主持分	1,149	1,473	1,220
<b>純資産合計</b>	<b>37,926</b>	<b>42,542</b>	<b>40,109</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>74,433</b>	<b>77,808</b>	<b>78,372</b>

連結損益計算書

科 目	前中間期 (24.4.1 から 24.9.30 まで)	当中間期 (25.4.1 から 25.9.30 まで)	前 期 (24.4.1 から 25.3.31 まで)
売上高	33,311	35,507	67,794
売上原価	27,087	28,672	54,879
<b>売上総利益</b>	<b>6,224</b>	<b>6,835</b>	<b>12,915</b>
販売費及び一般管理費	5,452	5,700	11,036
<b>営業利益</b>	<b>771</b>	<b>1,134</b>	<b>1,879</b>
営業外収益	247	450	642
営業外費用	329	160	587
<b>経常利益</b>	<b>690</b>	<b>1,424</b>	<b>1,934</b>
特別利益	0	1	17
特別損失	384	6	136
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>306</b>	<b>1,419</b>	<b>1,815</b>
法人税、住民税及び事業税	201	243	547
<b>法人税等調整額</b>	<b>△ 51</b>	<b>228</b>	<b>191</b>
少数株主利益	36	79	93
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>119</b>	<b>867</b>	<b>982</b>

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前中間期 (24.4.1 から 24.9.30 まで)	当中間期 (25.4.1 から 25.9.30 まで)	前 期 (24.4.1 から 25.3.31 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,291	3,487	6,471
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,807	△ 1,023	△ 2,484
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,467	△ 1,710	△ 2,919
現金及び現金同等物に 係る換算差額	28	327	255
現金及び現金同等物の 増加額(△は減少額)	45	1,081	1,323
現金及び現金同等物の 期首残高	5,577	6,901	5,577
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	5,623	7,983	6,901

(単位：百万円)

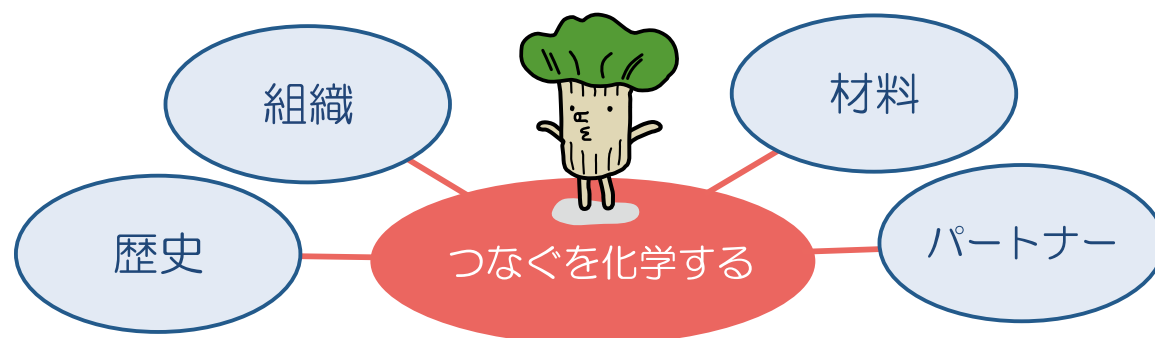
当社のビジョンが新しくなりました!



ビジョン

# つなぐを化学する SPECIALITY CHEMICAL PARTNER

- ・荒川化学の「つなぐ技術」が**材料**に新たな機能を与えます。
- ・顧客のニーズに合った製品で、特別な**パートナー**となることを目指します。
- ・横断的な**組織**体制(横串機能の強化)により、事業開発を促進します。
- ・**130**余年培った**技術**を活かし、新用途、新分野を切り拓きます。



「つなぐを化学する」は商標登録されました

## 会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号	荒川化学工業株式会社
創業	明治9年(1876年)
設立	昭和6年1月(1931年)
資本金	31億2,830万円
グループ従業員	1,322名
主な事業内容	次の製品の製造および販売 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、 粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、 光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、 精密部品洗浄剤および洗浄装置
ホームページアドレス	<a href="http://www.arakawachem.co.jp">http://www.arakawachem.co.jp</a>

## 役員 (平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	谷 奥 勝 三
常務取締役	眞 鍋 好 輝
常務取締役	宇 根 高 司
取締役相談役	末 村 長 弘
取締役	延 廣 徹
取締役	辰 巳 純 一
取締役	西 川 学
取締役	荒 川 壽 正
取締役	三 王 哲 朗
取締役	宮 下 泰 知
監査役(常勤)	山 中 勝 之
監査役(常勤)	厚 朴 裕 一
監査役	岩 城 本 臣
監査役	中 西 隆 夫
監査役	浅 井 正 士

(注) 監査役岩城本臣氏、中西隆夫氏、浅井正士氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	52,800,000株
発行済株式の総数	20,150,400株
株主数	3,567名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
荒川化学従業員持株会	1,176千株	5.84%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,148	5.70
株式会社三菱東京UFJ銀行	940	4.67
荒川壽正	595	2.95
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	506	2.51
三菱化学株式会社	406	2.02
株式会社みずほ銀行	397	1.97
株式会社三井住友銀行	396	1.97
荒川彦二	380	1.89
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	357	1.77

(注) 持株比率は、自己株式(12,014株)を控除して計算しております。

## グループ会社の状況 (平成25年9月30日現在)

会社名	資本金	議決権比率
Arakawa Europe GmbH	52千ユーロ	100%
広西梧州荒川化学工業有限公司	11,500千米ドル	100%
南通荒川化学工業有限公司	8,000千米ドル	100%
ペルノックス株式会社	60百万円	100%
高圧化学工業株式会社	60百万円	100%
ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD.	119,000千タイバツ	100%
台湾荒川化学工業股份有限公司	149,226千新台幣元	60%
荒川化学合成(上海)有限公司	3,900千米ドル	100%
Arakawa Chemical (USA) Inc.	1,400千米ドル	100%
カクタマサービス株式会社	100百万円	100%
HONG KONG ARAKAWA CHEMICAL LTD.	4,000千米ドル	60%
柏彌蘭科技股份有限公司	11,000千新台幣元	60%
廈門荒川化学工業有限公司	5,603千米ドル	間接60%

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
公告方法	日本経済新聞		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先 (お問い合わせ先)	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)		

### (ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 荒川化学工業株式会社

大阪市中央区平野町1丁目3番7号 〒541-0046  
電話 06-6209-8500(代表)



地球に優しいベジタブルインクを使用しております。